

会告 No.5

2020

◇通知・案内事項

○化学工学会第51回秋季大会開催案内・講演募集……………本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2020)	(2021)
◇年会		3/20～22(芝浦工業大学)
◇秋季大会	9/24～26(岩手大学)	9/22～24(岡山大学)
◇支部大会	7/2～3(秋田ビューホテル)	
◇学生発表会(東地区)		
(西地区)		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年5月 May			
1	令和2年度化学工学会東北支部特別講演会(宮城県)		4号14
16	第9回「しごとの常識」塾 ～上級編①有事と平時のしごと～(東京都)	5月11日(月)	本号8
25～26	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		4号9
27	SCE・Net第125回技術懇談会(東京都)	5月20日(水)	本号10
28	プラント・プロセス研究会第25回見学会(兵庫県)	5月13日(水)	本号11
28～29	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(東京都)		4号7
30	第10回「しごとの常識」塾 ～上級編①有事と平時のしごと～(大阪府)	5月25日(月)	本号8
2020年6月 June			
3	第25講研究開発リーダー実務講座2020 -企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?- (6/3～11/6の全6回)(大阪府)		4号15
3～5	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		4号9
6	SCE・Net社会人向け公開講座 「原子力・放射能基礎論-放射線の健康への影響と原子力発電の課題」(東京都)	5月31日(日)	4号13
6	第6回「しごとの常識」塾 ～基本編②チームワーク～(東京都)	6月1日(月)	本号8
6	第22回先端研究発表会・講演会(宮城県)	5月29日(金)	本号10
8～10	「反応器の設計」講座(東京都)		4号9
15～16	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	6月8日(月)	4号7
15～16	第27回化学安全講習会(大阪府)	5月26日(火)	4号15
18～19	「化学プラントの装置材料技術」講座(東京都)		4号10
22～23	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		4号10
23	第13回機器分析講習会(愛知県)	6月16日(火)	本号11
22～24	第44回基礎化学工学演習講座 第2クール(愛知県)		3号10
24～26	「P&IDの作り方」講座(東京都)		4号11
27	第57回化学関連支部合同九州大会・外国人研究者交流国際シンポジウム(福岡県)		3号12
29	第7回「初心者のための化学工学入門」講習会1日目(東京都)		本号10
2020年7月 July			
2	第34回公開講演会-講演&展示-(大阪府)		本号11
2～3	化学工学会秋田大会(秋田県)		4号14
2～3	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		4号8
6	第7回「初心者のための化学工学入門」講習会2日目(東京都)		本号10

8～10	第44回基礎化学工学演習講座 第3クール(愛知県)		3号10
10	第21回上席化学工学技士交流会(大阪)(大阪府)	7月6日(月)	本号8
13	第7回「初心者のための化学工学入門」講習会3日目(東京都)		本号10
15～16	「化学物質の安全・安全実技体験」講座(千葉県)	6月15日(月)	4号11
15～17	第44回基礎化学工学演習講座 第4クール(愛知県)		3号10
17	「仕様書の書き方～要求を正しく伝えるために～」講座(東京都)		4号11
30～31	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(東京都)		本号8
2020年8月 August			
4～5	粉体エンジニア早期養成講座【計測・測定】(大阪府)		本号9
6～7	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		本号8
20～21	「プラント計装制御-2」講座(東京都)		4号12
22	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(月)	4号4
27～28	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(東京都)		4号12
29	第8回「しごとの常識」塾～基本編③ボトムアップ～(兵庫県)	8月24日(月)	4号13
2020年9月 September			
2～4	第44回基礎化学工学演習講座 第5クール(愛知県)		3号10
9～11	第44回基礎化学工学演習講座 第1クール(愛知県)		3号10
10～11	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		4号12
12	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月20日(木)	4号4
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		本号5
26～27	令和2年度化学系学協会東北大会(青森県)	5月22日(金)	4号14
2020年10月 October			
13～14	粉体エンジニア早期養成講座【乾燥】(静岡県)		本号9
17	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)	6月30日(火)	4号4
22～23	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(大阪府)		本号9
2021年1月 January			
28～29	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		本号9
2021年2月 February			
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		本号9
25～26	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(大阪府)		本号9
2021年3月 March			
20～22	化学工学会第86年会(東京都)		
2021年9月 September			
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月26～28日	The First International Workshops of Chemical Engineering (IWChE) (グアム)	5月29日(金)	
2021年8月16～19日	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
20-1 関東支部 高分子入門講座 「高分子を知らない技術者のための講座(その1)」(東京都)	5月8日(金)	高分子学会 関東支部	03-3506-4711 k.hironaka@teijin.co.jp http://spsj.or.jp/branch/kanto/
海水資源・環境シンポジウム2020(千葉県)	5月14日(木)	日本海水学会 海水資源・環境研究会	0465-47-3161 shigen@swsj.org http://www.swsj.org/research/research-06.html
2020年度第1回静電気学会講習会 「電子製品製造における静電気対策～静電気障害と対策の実例～」(神奈川県)	5月15日(金)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) http://iesj.org/
第56回真空技術基礎講習会(大阪府)	5月19～22日 (火～金)	日本表面真空学会・日本真空工業会・大阪部技術協会	0725-53-2329 (0725-53-2332) g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp https://www.jvss.jp
食品ハイドロコロイドセミナー2020 ～初心者のためのハイドロコロイド研究法の解説～(東京都)	5月20日(水)	食品ハイドロコロイド研究会	sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
第31回食品ハイドロコロイドシンポジウム(東京都)	5月21日(木)	食品ハイドロコロイド研究会	sympo@food.hydrocolloids.org http://food.hydrocolloids.org/sympo
塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」(東京都)	5月22日(金)	色材協会 関東支部	03-3443-2811 (03-3443-3699) admin@jscm.or.jp
第7回SBJシンポジウム ～バイオ医薬品開発の最先端と生物工学への期待～(東京都)	5月22日(金)	日本生物工学会	06-6876-2731 (06-6879-2034) https://www.sbj.or.jp/event/sbj_sympo_20200522.html
腐食防食部門委員会 第334回例会 「アルミニウム製熱交換器の腐食と防食技術」(大阪府)	5月28日(木)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第5回マルチスケール材料力学シンポジウム(東京都)	5月29日(金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月30～31日 (土～日)	マリンバイオテクノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
第48回全国設備管理強調月間(2020年度)(全国)	6月1～30日 (月～火)	日本プラントメンテナンス協会	0120-451-466 (0120-451-467) FUKYU@jipm.or.jp http://www.jipm-topics.com/gekkan/
技術セミナー「材料の損傷・破壊の解析と予測の技術」(東京都)	6月2日(火)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpj.org http://www.hpj.org/mudzmfjxe-178/#
第59回粉体入門セミナー I 「粉体とは何だろうか?～その性質と評価～」(京都府)	6月2～3日 (火～水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
色材セミナー～SDGsと材料開発～(大阪府)	6月3日(水)	色材協会 関西支部	06-6356-0700 (06-6356-0711) kansai@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
第57回日本伝熱シンポジウム(石川県)	6月3～5日(水～金)	日本伝熱学会	076-234-4740 076-234-4743 symp2020@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2020/index.html
日本海水学会70周年記念 日本海水学会第71回年会シンポジウム(東京都)	6月4日(木)	日本海水学会	0465-47-2439 (0465-47-2439) kaminoyama-meguru-pb@ynu.ac.jp

第9回JACI/GSCシンポジウム 「新化学－未来社会への価値創造」(兵庫県)	6月10～11日 (水～木)	新化学技術推進協会	03-6272-6880 (03-5211-5920) emoto@jaci.or.jp http://www.jaci.or.jp
第25回計算工学講演会(福岡県)	6月10～12日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jcses.org https://www.jcses.org/koenkai/25/
燃焼の基礎に関する講習会 ～エネルギー管理士(熱分野)への第一歩～(東京都)	6月12日(金)	日本エネルギー学会 燃焼部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events2020@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/747/
講和「レオロジー・クラシック」2020(京都府)	6月12日(金)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp
第33回バイオエンジニアリング講演会(東京都)	6月13～14日 (土～日)	日本機械学会 バイオエンジニアリング部門	bioconf20@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf20/
20-19講演会「第25回動力・エネルギー技術シンポジウム」 (北海道)	6月18～19日 (木～金)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	smiwa@eng.hokudai.ac.jp https://www.eng.hokudai.ac.jp/edu/div/eneenv/PES25/index.html
第60回粉体入門セミナーⅡ 「粉をつくり、そして利用するために」(京都府)	6月18～19日 (木～金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
第31回年次大会 『未来を拓け！成形加工2020－Be Innovative, Creative, Interactive－』(東京都)	6月24～25日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	annual2020@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第31回キャタリススクール(東京都)	6月24～26日 (水～金)	触媒学会	catschool2020@ynu.ac.jp https://www.sec-information.com/catschool2020/
技術セミナー 「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(東京都)	6月30～7月1日 (火～水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpj.org http://www.hpj.org/murt9w9cg-178/#
第57回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月7～9日(火～木)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
第61回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(京都府)	7月8～9日 (水～木)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
第15回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (神奈川県)	7月8～10日 (水～金)	再生可能エネルギー協議会	http://www.renewableenergy.jp
第7回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都)	7月17日(金)	日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2020@pac.ne.jp https://ez-entry.jp/basic-lecture2020/entry/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020(大阪府)	7月29～31日 (水～金)	日本プラントメンテナンス協会、日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp
第29回日本エネルギー学会大会(富山県)	8月5～6日 (水～木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai29happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/734/
混相流シンポジウム2020(静岡県)	8月21～23日 (金～日)	日本混相流学会	konsosymp@jsmf.gr.jp

第22回X線分析講習会 蛍光X線分析の実際(第11回) (神奈川県)	9月1~3日(火~木)	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会	042-754-7111 k-nakano@azabu-u.ac.jp
第37回センシングフォーラム 計測部門大会 ~新たな地平を切り開くセンシング~(高知県)	9月3~4日(木~金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 bumon@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf37.html
第36回ファジィシステムシンポジウム 「ファジィには、未来を変える力がある」(福岡県)	9月7~9日(月~水)	日本知能情報ファ ジィ学会(SOFT)	http://fss.j-soft.org/2020/
2020年度工学教育研究講演会(北海道)	9月9~11日 (水~金)	日本工学教育協 会、北海道工学教 育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
ケミカルマテリアル Japan2020(神奈川県)	9月16~17日 (水~木)	化学工業日報社	https://www.chemmate.jp/
日本流体力学会年会2020(山口県)	9月18~20日 (金~日)	日本流体力学会	nenkai20-mch@mlex.cc.yamaguchi-u. ac.jp http://www2.nagare.or.jp/nenkai2020/
第68回レオロジー討論会(岩手県)	10月21~23日 (水~金)	日本レオロジー学 会、日本バイオレ オロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月15~19日 (日~木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
第63回自動制御連合講演会(富山県)	11月18~20日 (水~金)	計測自動制御学会	rengo63@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/rengo63/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	12月8~11日 (火~金)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	12月15~20日 (火~日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5~8日 (火~金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

化学工学会第51回秋季大会開催案内・講演募集

会 場：岩手大学上田キャンパス(〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号)

会 期：2020年9月24日(木)~9月26日(土)

講演申込期間：2020年5月7日(木)~6月15日(月)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

要旨提出期間：2020年7月1日(水)~8月27日(木)23:59

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/51f/>

化学工学会第51回秋季大会は、2020年9月24日(木)~26日(土)の3日間、岩手大学上田キャンパスにおいて開催されます。本年秋季大会では、本会外からの招待講演を多く含む「特別シンポジウム」(講演発表非公募)、部会が中心となって提案した「部会横断型シンポジウム」、「部会シンポジウム」など、多くの企画を実施いたします。該当するシンポジウムが不明の方は、化学工学会第51回秋季大会実行委員会(inquiry-51f@www3.scej.org)にご相談ください。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できま

せんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承ください。また講演要旨は、事前参加登録者(参加費支払済みの方)全員に、大会会期前に大会Webサイトで限定公開いたします。

注意点

○講演発表申込時の発表者事前了解について
必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポス

ター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

(※ 出席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。

学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

特別シンポジウム

本大会では、本会外からの招待者を多くお招きする「特別シンポジウム」を開催します。

※講演発表の公募は行いません。

※テーマ、詳細な内容、開催日等は大会Webサイトでご確認ください。

講演発表申込

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

正会員(名誉会員を含む)

学生会員

教育会員

海外会員(正会員、連携会員、学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員

部会個人賛助会員

部会法人賛助会員に属する社員

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者
中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHE)、台湾化学工学会(TwICHE)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHE)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会本部Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照ください。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。ただし、次項の条件にて第85年会の講演要旨集に掲載された内容の発表も可とします。

○第85年会の講演要旨集に掲載された内容の再発表について

第85年会で受理された講演は発表済みとみなされますが、第51回秋季大会に限り同一内容での発表を認めます。なお、招待講演・依頼講演については、次回の第86年会で同じ内容の講演を認めます。

- 発表形式(ポスター、口頭)の変更は可能です。
- 発表者はその順序を含め変更できません。ただし、当該発表者の範囲で登壇者の交代は可能です。所属・会員種別等は必要な範囲で変更可能です。申込者の変更は制限ありません。
- 題目および要旨の変更は認めません。要旨は第85年会で提出した原稿の末尾脚注に「第85年会で公表済み」と加筆したものを提出してください。
- これら以外の大会(支部大会、学生発表会など)での発表は認められません。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申込みください。講演申込期間は、2020年5月7日(木)から6月15日(月)23:59までです。大会Webサイトからの申込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使ください。

なお、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任ください。

○申込時の注意事項

- *講演申込期間以外は受理できません。
- *JISコードのない日本語文字は使用しないでください。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。
- *講演申込1件分を1つつづ送信してください。
- *二重送信は絶対しないでください。
- *申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信してください。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- *申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせください。
- *プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- *最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態が生じることが予測されます。余裕を持ってお申込みください。
- *大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧ください。

○講演分類

講演申込時には、講演を希望するシンポジウム、セッション番号を指定してください。一覧は大会Webサイトにてご確認ください。

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2020年7月1日(水)から8月27日(木)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出(アップロード)してください。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異ならないように注意してください。異なっている場合はプログラム(大会webサイト、講演要旨集、冊子)に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用ください。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)してください。大会Webサイトではカラーで掲載されます。

- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし、20分を越える講演は2枚(2ページ)です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。全体体裁：2段組み、24字×49行×2段=2352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦254mmの中に全内容を納めてください。
- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいてください。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いてください。
- 6) 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いてください。所属名は略称を記入してください。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないでください。保有している化学工学会資格は7)を参照してください。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけてください。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけてください。

(例)(岩大)○(正・技士)化工一郎*(学)

岩手花子・上田太郎

- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記してください。化学工学修習士:修習、化学工学技士(基礎):技基、化学工学技士:技士、首席化学工学技士:上技。(例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
- 8) 本文は5行目左欄から書いてください。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いてください。
- 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載してください。

<PDFファイルに関する注意点>

- 1) ファイルサイズは1229kB以下にしてください。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にしてください。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行ってください。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)してください。
- 5) PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

<講演要旨原稿提出時の注意事項>

- * 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
- * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、

受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について
化学工学会では、化学工学会 Web サイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

発表形式

発表方法の詳細については大会 Web サイトに掲載いたします。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書が必要になる場合があります。詳細については、本会 Web サイト(<http://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>) をご確認ください。また、第51回秋季大会の講演要旨公表日は2020年9月10日(木)です。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

問合せ先

化学工学会第51回秋季大会実行委員会
E-mail : inquiry-51f@www3.scej.org

第51回秋季大会 プログラム集広告・webバナー広告募集

第51回秋季大会概要

会期 2020年9月24日(木)～26日(土)
会場 岩手大学上田キャンパス
見込み参加者 1,800名以上
内容 研究講演・シンポジウム等
参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の
教員・学生、化学系および関連会社の研究者・
技術者
URL : <http://www3.scej.org/meeting/51f/>

広告媒体

○プログラム集広告
媒体 化学工学会第51回秋季大会研究発表講演
プログラム集(冊子体、A4サイズ、モノクロ)
配布対象 化学工学会第51回秋季大会参加者
広告サイズ 刷り上がりでA4サイズ1コマ(1
ページ)、またはA5サイズ1コマ(1/2ページ)
申込期限 2020年7月31日(金)(掲載ページ数に
限りがありますのでお早めにお申し込み)
原稿送付期限 2020年8月11日(火)必着

○webバナー広告
媒体 化学工学会第51回秋季大会webサイト
(<http://www3.scej.org/meeting/51f/>)
バナーサイズ 左右130×天地33ピクセル
ファイル形式 GIF、PNGまたはJPEG
リンク設定 掲載のバナー広告から貴社へのリ
ンクを設定します
掲載期間 申込受付後、第51回秋季大会webサ
イト公開終了まで(大会終了後もしばらく公開
を続けます；公開終了は化学工学会にて決定
します)
申込期間 随時(スペースに限りがありますので
お早めにお申し込み)

広告料金[税別]

○化学工学会会員(原則として法人会員に限りです)

掲載位置	プログラム集広告* ¹		webバナー広告* ³	
	A4縦	A5横	バナーのみ	パッケージ* ²
表2	55,000円		20,000円	+ 10,000円
表3	50,000円			
表4	60,000円			
上記以外(冊子本体末尾)	40,000円	20,000円		

○化学工学会会員外(原則として法人に限りです)

掲載位置	プログラム集広告* ¹		webバナー広告* ³	
	A4縦	A5横	バナーのみ	パッケージ* ²
表2	110,000円		40,000円	+ 20,000円
表3	100,000円			
表4	120,000円			
上記以外(冊子本体末尾)	80,000円	40,000円		

*1 1コマあたりの料金です。

*2 「パッケージ」とは、webバナー広告をプログラム集と同時に申し込みいただく場合の料金です。同時に申し込みいただくことで割引がございますので、是非ご検討ください。

*3 広告主様にて掲載用画像ファイルを制作いただく場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので、別途お問い合わせください。

申込方法

大会webサイトのフォームよりお申込みくだ
さい。

広告原稿作成方法

申込受付後に書式などの詳細をご案内させて
いただきます。書式にそってプログラム集広告
の場合は版下原稿を、Webバナー広告の場合は
電子ファイルを作成していただきます。

広告料金支払方法

口座振込にてお支払いいただきます。振込口
座等は申込受付後に実行委員会よりお知らせ
いたします。

注意事項

■掲載の取消し
掲載申込の受付後は、本会が不可抗力と認め

たもの以外の掲載取消しはできません。したがっ
て、広告料金の返却はいたしません。原稿送付
期限に遅れて送付された原稿は掲載できませ
ん。この場合、本会が不可抗力と認めたもの以
外の広告料金は返却いたしません。掲載申込の
受付後でも掲載内容に問題があると本会が判断
した場合には掲載をお断りすることがあります。
この場合、広告料金は返却します。

■掲載位置

プログラム集内での広告掲載位置によって料
金が異なります。表2、表3、表4はお申込み先
着順とします。それ以外は申込順を基本としま
すが、広告サイズ、申込数などを考慮して本会
が決定します。

webバナー広告は、申込順を基本としますが、
申込数などを考慮して本会が決定します。

問合せ先

化学工学会第51回秋季大会実行委員会
E-mail : inquiry-51f@www3.scej.org

人材育成センター

「しごとの常識」塾のご案内

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

化学工学会人材育成センターでは、「化学工学技士」資格者のキャリアアップ、現役力強化を支援する目的で、プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」を実施しております(4号会告6ページの図を参照)。

プレミアム講座は、「しごとの常識」塾と特別教室で構成されており、「しごとの常識」塾では、キャリアアップのための実務能力を得るための基本的な知的情報を対話形式で提供します。

対象 「化学工学技士」資格保有者

講習目標 「しごとの常識」塾の入塾者には、基本編、中堅編、上級編を通して、それぞれ以下のようなテーマによるディスカッションを通して、マインドセット涵養の動機を与え、多様性と外発性が備わった自由な発想ができる“知的生産性の高い技術者”を目指すことを促します(心・体・理・知・行のバランスのとれた胆力)。

◆基本編

- (1) 感受性；判断について
- (2) チームワーク；作業について
- (3) ボトムアップ；意思決定について

◆応用編

- (1) 情報としごと；知識について
- (2) IT革命とグローバル化；昭和と平成のしごと
- (3) 技術革新；胆力について(市場、対象、理論と経験など)

◆上級編

- (1) 有事と平時のしごと；組織のしくみ
- (2) リーダーシップとフォロワーシップ；立場と役割
- (3) リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・行動様式)；組織力、人材育成

なお、世情に対応して、急遽、緊急応援講座として、～上級編①有事と平時のしごと～を、東京(第9回)と大阪(第10回)にて開催致します。

但し、しばらくの間は定員を通常の12名から8名に減らして開催致します。また、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては延期する可能性もございますことをご了承下さい。

第9回「しごとの常識」塾 ～上級編①有事と平時のしごと～

日時 2020年5月16日(土)13:00～17:30
場所 化学工学会会議室
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館ビル5F
(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅から11分】下車徒歩1分)
<http://www.scej.org/access.html>

講座内容

1. 塾概要および講師紹介
2. テーマ『有事と平時のしごと』の説明
3. しごとの常識とテーマ『有事と平時のしごと』について対話により理解を深める
4. テーマ『有事と平時のしごと』と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する

講師

伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)

募集定員 8名(定員になり次第締切)
申込締切 5月11日(月)
参加費(税込) 基本編、中堅編、上級編を通して、初回5,000円(入塾料1,000円含む)、二回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払下さい。

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申込みください。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/788>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第10回「しごとの常識」塾 ～上級編①有事と平時のしごと～

日時 2020年5月30日(土)13:00～17:30
場所 大阪科学技術センター 6F 601号室
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
(地下鉄御堂筋線「本町」駅2番出口徒歩7分、四つ橋線「本町」駅28番出口徒歩3分)
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>

講座内容

1. 塾概要および講師紹介
2. テーマ『有事と平時のしごと』の説明
3. しごとの常識とテーマ『有事と平時のしごと』について対話により理解を深める
4. テーマ『有事と平時のしごと』と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する

講師

伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員、化学工学会名誉会員)

募集定員 8名(定員になり次第締切)
申込締切 5月25日(月)
参加費(税込) 基本編、中堅編、上級編を通して、初回5,000円(入塾料1,000円含む)、二回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払下さい。

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申込みください。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/789>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
※在宅勤務中の可能性が高いので、原則としてE-mailでお問い合わせ下さい。

第6回「しごとの常識」塾～基本編②チームワーク～(4/11(土)於：化学工学会会議室)は、6/6(土)に日程を延期し、また、定員を12名から8名に減らして、同じ会場で開催致します。締切も6/1(月)に延長致します。また、第5回「しごとの常識」塾～応用編①情報としごと～(3/14(土)於：大阪科学技術センター)、及び、第7回「しごとの常識」塾～応用編②IT革命とグローバル化～(6/6(土)於：化学工学会会議室)は、7月以降に日程を延期します。変更後の日程は、それぞれ次のURLにてご確認下さい。

- 第5回～応用編①情報としごと～
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/741>
- 第7回～応用編②IT革命とグローバル化～
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/753>

4号会告に掲載した講座のうち、次の2講座の日程を変更致しました。何れも会場の変更はございません。

但し、「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算編では、3日目のオプション講座(PRO/II演習)を実施する旨をアナウンスしていましたが、変更後の新しい日程では実施せず、オプション部分はその次の第24回開催の際に実施致します。

また、その他の4号に掲載した講座につきましては、今のところ衛生面に最大限の配慮した上で、予定通り開催する計画です。

●「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(第14回)
(変更前)5月14日(木)～15日(金)
(変更後)8月6日(木)～7日(金)
場所 化学工学会会議室(変更なし)
詳細 <https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/745>

●「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算編(変更前)
第23回：5月18日(月)～19日(火)+OP講座：20日(水)
第24回：10月8日(木)～9日(金)
(変更後)
第23回：7月30日(木)～31日(金)
第24回：10月7日(水)～8日(木)+OP講座：9日(金)
場所 化学工学会会議室(変更なし)
詳細 <https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/747>(第23回)

第21回上席化学工学技士交流会(大阪)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2019年までに191名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って2014年7月に始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様の交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所であらゆる回数開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 2020年7月10日(金)13:30～17:00
 場所 大阪科学技術センター6F 602号室
 (〒550-0004 大阪市西区靫本町1-8-4)
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>
 地下鉄御堂筋線「本町」駅2番出口徒歩7分、四つ橋線「本町」駅28番出口徒歩3分

対象 「上席化学工学技士」資格保有者
 内容

1. 参加者自己紹介、名刺交換会(13:30～14:00)
2. 話題提供「固液分離、粉体ハンドリングの設計業務を通して経験した化学工学(仮)」(14:00～15:20)

上席化学工学技士(月島機械(株))
 諏訪 聡氏

3. SPCE's フォーラム: テーマ(当日の話題から)(15:30～17:00)
 技術伝承、若手育成などについて意見交換
 司会: 上席化学工学技士((株)カネカ)
 古川龍二氏

(移動)

4. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 16名(定員になり次第締切)
 申込締切 7月6日(月)
 参加費(税込) 4,000円(当日会場受付でお支払下さい)

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申し込み下さい。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/786>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: qualification@attmark.scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
 ※在宅勤務中の可能性が高いので、原則としてE-mailでお問い合わせ下さい。

2020年度 粉体エンジニア早期養成講座 受講のご案内

主催 一般社団法人日本粉体工業技術協会
 協賛 公益社団法人化学工学会

日本粉体工業技術協会では、化学関連産業(特に粉体技術)に携わる若手技術者に、粉体技術の原理原則をしっかりと理解し、それを基盤に実務に関する技術を習得して応用・展開能力を身につけていただくように、今年も産学連携の実行体制により「粉体エンジニア早期養成講座」を下記の要領で開催いたします。少人数で実習・演習が豊富であることを特徴としています。実践的粉体技術者をめざす方の早期養成教育として、ぜひ受講されることをお勧めいたします。

講座名・開催日・開催場所

*基礎科目

第1回【計測・測定】2020年8月4日(火)～8月5

日(水)マイクロトラック・ベル(株)
 大阪アプリケーションラボ(大阪府)

*専門科目

第2回【乾燥】2020年10月13日(火)～10月14日(水)
 (株)大川原製作所(静岡県)
 第3回【混合・混練】2020年10月22日(木)～10月23日(金)

(株)栗本鐵工所(大阪府)

第4回【ろ過】2021年1月28日(木)～1月29日(金)

関西金網(株)(大阪府)

第5回【粒子加工】2021年2月3日(水)～2月4日(木)

(株)パウレック(兵庫県)

第6回【粉砕】2021年2月25日(木)～2月26日(金)

(株)栗本鐵工所(大阪府)

※初めて粉体エンジニア早期養成講座の受講を考えておられる方は、「計測・測定」の受講をお勧めします。

受講対象者

- ・化学工学関連産業(化学・薬品・素材製造・プラント製造など)に携わる技術者(実務経験3～7年程度)
- ・中小・中堅の粉体関連エンジニアリング企業の技術者
- ・大学院生
- ・日本粉体工業技術協会が主催する「粉体入門セミナー」受講修了レベル

募集人員

基礎科目 10名
 専門科目 10～20名/講座

申し込みについて

協会ホームページ(URL: <http://appie.or.jp/>)
 (HOME⇒「セミナー・講演会・見学会」⇒「教育部門のセミナー・講座」⇒講座名をクリック⇒「申し込みはこちら」よりお申し込みください。

参加費・募集開始について

5月1日(金)より順次募集開始予定。
 詳しくは協会ホームページをご覧ください。

申込先・問合せ先 一般社団法人日本粉体工業技術協会 協会本部

〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル7階

TEL: 075-354-3581 FAX: 075-352-8530

E-mail: enjinia@appie.or.jp

2020年度インターンシップ のご案内

主催 化学工学会人材育成センター 高等教育委員会

化学工学会では「企業の中で、化学工学の知識を活用できるテーマの研修を体験し、化学工学の位置付けを理解すること」を目的としたインターンシップを、2006年度から行っております。

特長

(1) 化学工学の知識を活用できるテーマの研修で

す。

(2) 主に、夏期(7～9月)に、2～8週間程度の研修を行います。

(3) 学生間での情報交換を図るため、報告会・交流会を行います。

申込資格

- (1) 化学工学会の会員であること。
- (2) 大学院生であること。
- (3) 指導教員の推薦状があること。

入会申込に関する諸注意

入会時期に関わらず、年会費は同額です(3～8月入会は5,500円/年)。未入会の方は速やかに手続きして下さい。

WEBから入会フォームに登録すると、登録されたメールアドレスに「公益社団法人化学工学会 入会申込 確認メール」が届きます。仮登録のメールなので、1時間以内に本文の本登録URLをクリックしないと手続きが完了しません。(1時間以上経過した場合は無効になりますので、WEB登録から手続きをやり直して下さい)

本登録が完了した方には、会費請求書が送付されますので、郵便局/ゆうちょ銀行、または、コンビニでお支払下さい。(郵便局の場合、手続日から入金確認ができるまでに3日～1週間要します。コンビニの場合、更に1～2週間要する場合がありますのでご注意ください)

入金確認が完了するとインターンシップへの申込ができるようになります。

入金確認はマイページにログインしてご確認できます。本登録完了時に送信されたIDとPWでログイン後、会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで下さい。

「請求入金情報・クレジット決済」の「請求履歴」で、2020年度の「入金済金額」に金額が入っていれば完了しており、申込ができる状態です。2020年度の「入金済金額」が0の場合は完了していません。

申込期間 2020年6月1日(月)～19日(金)13:00 厳守

申込方法 ホームページ(<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>)で「2020年度インターンシップ」を選択し、「参加申込(会員の方)」のボタンよりお申し込み下さい。

※申込は1人1テーマのみです。

※申込の際に、指導教員推薦状を添付して頂きます。事前に書類をご用意下さい。詳細はホームページよりご確認ください。

再マッチングについて

合否が判明次第、希望者には学会よりご連絡します。

報告書の提出について

研修終了次第、速やかに報告書を提出して下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 高等教育委員会「インターンシップ」事務局
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: internship_2020@attmark.scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

※在宅勤務中の可能性が高いので、原則としてE-mailでお問い合わせ下さい。

産学官連携センター

第125回技術懇談会

第125回SCE・Net技術懇談会を下記により開催いたします。

今回の講演1では、元住友電気工業(株)の松宮紀文氏より、化石燃料が主要電源を占める日本では、二酸化炭素を削減するためには、発電により排出された二酸化炭素を回収・貯留することが重要であり、その技術開発の現状についてお話しいたします。講演2では、弁護士であり弁理士でもある升永英俊氏より、中村修二氏の青色発光ダイオード職務発明訴訟-東京地裁判決：一部請求としての200億円の発明の対価の支払を命じた。知財高裁：8億4000万円の和解成立-と、演者らが、憲法56条2項、憲法1条、憲法前文第1項第1文冒頭が、人口比例選挙

(一人一票選挙)を要求していると主張して、2009年~今日までの10年間で、106個の訴訟を全国の高裁に提訴した人口比例選挙裁判について解説いただきます。

日時 2020年5月27日(水)15:00~17:20
場所 文京区立アカデミー茗台(区立茗台中学校に併設)7F 学習室B
東京都文京区春日2-9-5 TEL:03-3817-8306

(<http://www.b-academy.jp/rental/ac-meidai/index.html>)

(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車春日通りを右手に徒歩10分)

15:00~15:45(討論5分)
講演1「地球温暖化問題とその対策について」

松宮紀文氏 工学博士 SCE net会員、
元住友電気工業(株)

15:45~17:20(討論15分)
講演2「2つの裁判~「中村修二氏の青色発光ダイオード職務発明訴訟」と「一人一票訴訟」~について」

升永英俊氏 弁護士・弁理士

定員 40名
会費 1,000円(当日会場受付でお支払い下さい)
但しSCE・Netの法人会員は無料です。
参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)を記載して、E-mailで2020年5月20日までに、お申し込み下さい。
申込先 SCE・Net事務局
E-mail: scenet@scej.org

地域 C T

東北支部

第22回先端研究発表会・講演会

主催 化学工学会東北支部、宮城化学工学懇談会

日時 2020年6月6日(土)
会場 東北大学工学部(青葉山東キャンパス)
仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

近年、研究成果の量を重んじるあまり、結果を深く掘り下げて考える時間を十分に取れないまま日々研究を進める状況が多く見受けられます。また、多くの学会でポスターが主要な発表形式となっており、口頭発表を通じて若手研究者が自ら気づく機会が少なくなっている現状もあります。これらことは先端研究の先進性や萌芽段階としての「気づき」の機会が少なくなっていることにつながります。化学工学会東北支部では、宮城化学工学懇談会との共同主催で、東北地方および東北地方以外の地方から、先端研究に関連する口頭発表を募集します。また、若手研究者からの講演会も同時開催いたします。

ホットな研究や開発の話題提供を期待するとともに、若手学生や研究員の研修の場としても活用いただき、将来、国際的な化学工学研究が期待できる人材の育成を目指す発表会とします。また懇親会を通して、先端研究に携わる学生だけでなく教員、産官研究者間の交流も深まることを期待します。

14:00 発表会(申込件数に応じて変更する可能性があります)

会場 青葉記念会館4階大研修室

17:00 講演会「里山発のグリーンデバイス」
中安祐太氏

会場 青葉記念会館4階大研修室

18:00 懇親会(発表会表彰式、フリーディスカッション)

会場 青葉記念会館3階 レストラン「四季彩」

参加費 一般:1,000円、非会員:3,000円、学生:無料

懇親会費 一般:2,000円、非会員:3,000円、
学生:1,000円

発表の形式 口頭発表(発表9分、質疑5分、交代1分を予定していますが、申込件数によっては各時間を変更する場合があります)。発表スライドは日本語でも構いません。

発表申込方法 東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)から申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、advance@tranpo.che.tohoku.ac.jp宛でお申し込みください。発表要旨(書式は後日ホームページに掲載)も合わせてご提出いただきます。なお表彰式は懇親会のなかで行います。発表者はやむを得ない事情を除き、懇親会にご参加いただくこととなりますことをご承知ください。

発表申込・要旨提出締切 5月22日(金)

発表会への参加申込方法 参加者のお名前、所属、連絡先(E-mail、TEL等)、懇親会の出欠を記入の上、E-mailまたはFAXにて下記連絡先までお申し込み下さい。

参加申込締切 5月29日(金)

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学工学部化学・バイオ工学科内

化学工学会東北支部事務局

TEL&FAX:022-712-0887

E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp

発表申込に関する詳細は後日、東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)に掲載いたしますのでご参照ください。

関東支部

第7回

「初心者のための化学工学入門」

主催 (公社)化学工学会関東支部

共催 (公社)化学工学会SCE・Net

企業で生産あるいは技術開発などに従事されて、業務上化学工学の知識や考え方が必要であ

るにもかかわらず、大学、高専などで化学工学を学んで来なかった、あるいは十分に学べなかった初心技術者を対象にした講座です。化学工学の基礎的な考え方や実用的な計算を身につけていただくことを目的に開講致します。

講師は化学工学会SCE・Netに所属する化学工学技術者が当たり、自らの実務経験を反映させて分かり易い講義に努めます。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「反応工学」、「分離工学I(蒸留)」、「分離工学II(ガス吸収・膜分離)」の6テーマに分け、それぞれのテーマについて、3時間で考え方と計算例を分かり易く講義します。

企業の人事・教育をご担当される方々におかれましては、化学工学を学んでこなかった技術者の方々の教育に、ぜひ「初心者のための化学工学入門」をご活用ください。

日時 2020年6月29日(月)、7月6日(月)、
13日(月)9:30~12:30、13:30~16:30

会場 化学工学会会議室(文京区小日向4-16-19
共立会館5階 TEL:03-3943-3527)

最寄駅 地下鉄(東京メトロ)丸の内線茗荷谷駅下車1分

プログラム

第1日目 6月29日(月)
9:30~12:30 化学工学の基礎入門

13:30~16:30 流体工学入門 福原三郎氏
宮本公明氏

第2日目 7月6日(月)
9:30~12:30 熱工学入門 山本一己氏

13:30~16:30 反応工学入門 稲葉正志氏

第3日目 7月13日(月)
9:30~12:30 分離工学I(蒸留)入門

竹内 亮氏

13:30~16:30 分離工学II(ガス吸収・膜分離)入門 中尾 眞氏

持参品 筆記用具、関数電卓をご持参ください。
申込締切 2020年6月20日

募集人員 24名(先着順、定員になり次第締め切ります)

参加費 化学工学会正会員 3日間(6テーマ)24,000円、1テーマ(半日)5,000円

法人会員の社員 3日間(6テーマ)30,000円、
1テーマ(半日)6,000円
会員外 3日間(6テーマ)35,000円、1テーマ(半日)7,000円

*参加費には資料代および消費税を含みます
支払方法 受付後、参加証と共にお送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日会場での現金支払いも可能ですが、当日になってのキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。

申込方法

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催のご案内の「第7回初心者のための化学工学入門」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

東海支部

第13回機器分析講習会

卒業研究を始める4年生や修士学生、実際に分析機器を使用している企業の担当者を対象に、経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して、分析機器の操作方法や計測手法、日常メンテナンスやノウハウを学び、研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。講習会は、X線回折コース、走査電子顕微鏡コース、高速液体クロマトグラフコースおよび電気化学インピーダンス測定コースの4コースを開催します。また、講義終了後に個別の質問コーナーを設けますので、日常の分析で疑問に思っていること、こんな分析をしてみたい、今使用している機器の消耗品などに関する情報を得たい、何でも構いませんので、気軽に質問や相談してください。

主催 公益社団法人化学工学会東海支部
協賛 (予定) 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会、静岡化学工学懇話会、日本化学会東海支部、高分子学会東海支部、電気化学会東海支部、日本分析化学会中部支部、日本溶剤リサイクル工業会、日本機械学会東海支部、日本材料学会東海支部、日本セラミックス協会東海支部
協力 (株)島津製作所、日本電子(株)、(株)リガク、(株)東陽テクニカ

日時 2020年6月23日(火) 13:30～17:00 各コースの会場(10階)で受付します
場所 愛知県産業労働センター(ウインク愛知) <http://www.winc-aichi.jp/>
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分

講習会の内容(案)

- X線回折(XRD)コース
講師:(株)リガク[1004号室]
X線回折法の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、安定した測定に対するノウハウ、などについて講義します。
- 走査電子顕微鏡(SEM)コース
講師:日本電子(株)[1005号室]
走査電子顕微鏡の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、測定に対するノウハウなどにつ

いて講義します。また、エネルギー分散形X線分析装置など、関連する表面分析についても講義します。

- 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース
講師:(株)島津製作所[1009号室]
HPLCの基本を説明した後に、日常分析に対する留意点、日常のメンテナンス方法、簡単なトラブルシューティングなど、HPLC使用のノウハウについて講義します。
- 電気化学インピーダンス測定コース
講師:(株)東陽テクニカ[1008号室]
電池や腐食、塗膜などの評価に用いられる電気化学インピーダンス測定の原理を説明した後に、等価回路に置き換えて解析する方法などについて講義します。また、二次電池の測定に適用できる最新の測定・解析手法を紹介いたします。

募集定員 各コース40名

参加費

正(個人)・法人会員会社社員 6,000円(含テキスト代)
非会員/一般 10,000円(含テキスト代)
学生(会員/非会員) 3,000円(含テキスト代)
※1:協賛学会の会員の方は、化学工学会会員の参加費に準じます。
※2:当日払いの方には、領収書を発行いたします。

申込締切 6月16日(火)

申込方法 下記ホームページにアクセスし、「参加申込みフォーム」にてお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

なお、参加者には参加証をお送りします。参加証は当日ご持参下さい。

問合せ先 公益社団法人化学工学会東海支部

HP: <http://scej-tokai.org/>

関西支部

関西支部「プラント・プロセス研究会」第25回見学会

主催 化学工学会関西支部プラント・プロセス研究会

日時 2020年5月28日(木)13:00～19:00
会場 住友精化(株)別府工場(兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1)
集合場所/時間:JR山陽本線「土山」駅南口タクシー乗り場付近/13:00集合 時間厳守
(交通)JR「大阪」駅などから新快速 姫路方面行き、JR「明石」駅にて快速(普通)に乗り換え、JR「土山」駅下車。

プログラム

- 研究会代表の挨拶(13:30～13:35)
- 住友精化(株)の会社紹介(13:35～14:00)
(住友精化)山本正人氏
- 話題提供(14:00～15:20)
(1)ある工業薬品プロセスの開発を振り返って(14:00～14:40)
(住友精化)南 秀典氏
(2)電力機器用革新的機能性絶縁材料の開発(耐部分放電性に優れた絶縁材料の開発)(14:40～15:20)
(住友精化)藤本信貴氏
- 研究設備・工場見学(住友精化(株)別府工場内)(15:30～16:30)

- 質疑応答・総合討論(16:30～17:00)
- 懇親会(17:30～19:00) 於:住友精化(株)別府コミュニケーションセンターURUOI館
*終了後、現地解散。(JR土山駅などへタクシーで移動)

申込締切 5月13日(水) 定員(20名)になり次第締切

参加費 無料(当日徴収します)

申込方法 HP (<https://www.kansai-scej.org/topics/1921>)よりお申込みください。

もしくは、「プラント・プロセス研究会第25回見学会」参加申込みと題し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)会員資格(正会員・学生会員の場合は会員番号)、4)連絡先(住所、電話、E-mail)、5)懇親会の参加の有無、6)次回以降の案内希望の有無、を明記のうえ、E-mailにて下記宛にお申込みください。参加決定者には5月中旬頃にメールにて参加証を送付いたします。

原則、化学工学会所属会員(正/法人)であればご参加可能です。ただし、業種(同業者)によっては、見学をお断りさせていただく可能性がありますので、ご了承ください。

申込先 公益社団法人化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6階
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

第34回公開講演会一講演&展示一～吉田潤一先生追悼シンポジウム～

主催 近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会
共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2020年7月2日(木)9:30～19:00
会場 大阪科学技術センター8階大ホール(大阪市西区靱本町1-8-4)

プログラム

- マイクロ高速合成化学分野開拓とその後の展開について
(京大院工)永木愛一郎氏
 - Selectivity control by flow chemistry
(Univ. of Rouen) Jilen Legros氏
 - 出展企業プレゼンテーション
題目・講演者未定
 - (コーニングインターナショナル)
5. フローシステムを用いた含窒素化合物の合成研究
(三重大院工)八谷 巖氏
 - マイクロ流路におけるスラグ流の流体挙動解析と制御
(京大院工)外輪健一郎氏
 - ロボット合成からフロー合成へそして今
(阪府大研究推進機構)柳 日馨氏
- 展示 於:同所中・小ホール/自動合成・マイクロ合成装置などのデモ
※展示会出展要綱をご入り用の方は下記までご請求ください。

懇親会 於:同所7階レストラン
参加申込締切 定員(200名)になり次第締切
参加費 化学工学会所属会員(法人)15,000円/(大学・公設機関)5,000円、会員外25,000円、フロー・マイクロ合成研究会会員(法人)5,000円/(学識)2,000円(何れも懇親会・テキスト代含)
申込方法 ホームページ上の参加申込みフォームよりお手続きください。送金方法は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金

No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。参加決定者には6月下旬頃にE-mailにて参加証を送付します。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会

TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : seminar@kinka.or.jp
<http://flowmicro.com/>

求人

☆大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 募集☆

募集人員：助教 1名
専門分野：反応工学
応募資格：博士の学位を有する方
(詳細は、http://scej.org/docs/inquiry/recruit/20200529_osaka.pdfを参照)
応募締切：2020年5月29日 必着
問合せ先：西山憲和
TEL : 06-6850-6255
E-mail : nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp